

夕張川新水路完成 80 周年 メモリアルシンポジウム

旧夕張川

夕張川新水路



保原元二氏の像（南幌町）

日時

平成28年11月24日(木)

14:00受付 14:30開会

会場

ホテル札幌ガーデンパレス2F 丹頂
札幌市中央区北1条西6丁目 TEL 011-261-5311

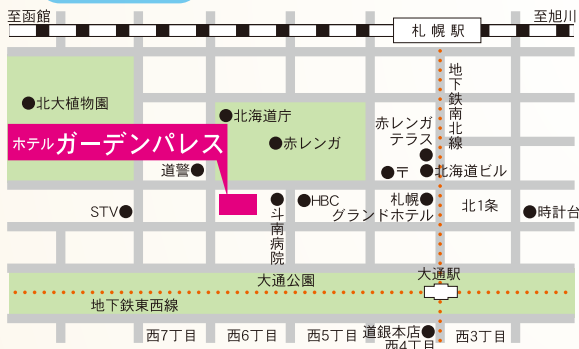
参加費無料

事前申し込み

詳しくは裏面をご覧ください

参加者募集中!

会場案内図



夕張川掘削（人力によるトロッコ土砂運搬）



かつての夕張川は、千歳川と夕張太で合流し、名を江別川と変え石狩川に合流していた。夕張川下流域は、勾配が緩く、また川幅も狭いことから、毎年のように洪水が発生し、住民を苦しめていた。

明治43年、若き道庁技師が南幌町に降り立った。後の石狩川治水事務所第5代所長、保原元二である。保原は民家に泊まりながら、住民から水害状況を聞き、夕張川の調査と測量にあたり、夕張川を千歳川から切り離して石狩川に直接合流させる新水路計画を立案した。大正9年より事業に着手したが、一帯は軟弱地盤である泥炭が広がっており難工事となった。さらに財政難により予算は削減され、工事は遅れる。その間住民は自費で堤防を築き、工事の促進運動も行った。こうして昭和11年8月、夕張川新水路はようやく完成し、同年11月24日に新水路完成祝賀会が南幌小学校で行われた。保原は工事進行や中央との折衝など、明治43年から昭和11年までの27年間、その半生を夕張川治水に尽くした。

夕張川新水路により、この地域は稲作を中心とした農業地帯に生まれ変わり、現在では夕張スーパーダム等の治水事業も進み、道内のみならず我が国の食糧供給基地としての役割を担っている。なお南幌町では毎年7月1日を「治水感謝の日」として感謝を捧げており、長沼町では先人に感謝を捧げる「水祭り」を7月2日に長沼神社で行っている。

本シンポジウムは、新水路完成後80年目を迎えたことから、夕張川新水路の事業概要、治水効果、当時の地元の熱意、工事関係者の尽力を振り返り、今後の治水事業のあり方を考えるものである。

- 主催／夕張川新水路完成80周年メモリアルシンポジウム実行委員会[南幌町、長沼町、札幌開発建設部、(一財)石狩川振興財団]
- 後援／土木学会北海道支部

お問合せ事務局:夕張川新水路完成80周年メモリアルシンポジウム実行委員会

・札幌開発建設部 江別河川事務所計画課 TEL 011-382-2358

・(一財)石狩川振興財団 TEL 011-242-2242 FAX 011-242-2445 e-mail:info@ishikari.or.jp

Legacy

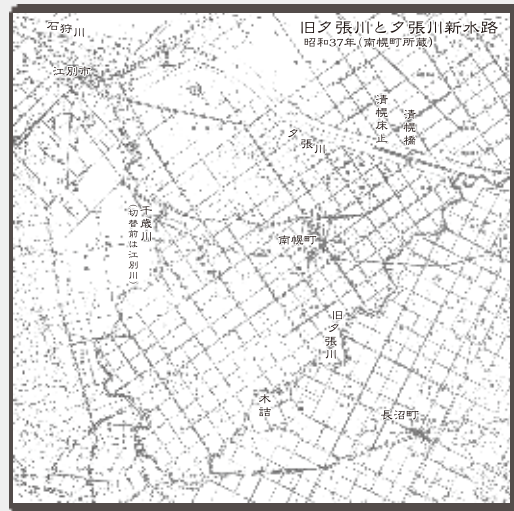
南幌町と長沼町に継がれる先人達の偉業



昭和 11 年。新夕張川に流れ込む (南幌町蔵)



昭和 11 年通水の景 (菅原邦夫画・長沼町提供)



Program

司会

フリーアナウンサー

真砂 徳子

14:00 受付開始

14:30 開会

14:35 挨拶

札幌開発建設部 部長

難波江 完三

【第 1 部】

◎夕張川新水路の概要

北海道開発局札幌開発建設部

江別河川事務所長 岡部 啓二

◎夕張川新水路工事を振り返って

DVD 上映

「夕張川 治水に命を賭けた男達」

【第 2 部】

パネルディスカッション

《パネラー》

保原元二氏ご息女

南幌町長

長沼町長

酪農学園大学特任教授

札幌開発建設部 次長

佐々木 光枝

三好 富士夫

戸川 雅光

山田 大隆

宮藤 秀之

《コーディネーター》

NPO 法人 環境技術研究センター 理事長

16:55 閉会挨拶

(一財)石狩川振興財団 理事長



南幌町と長沼町の治水の恩人
元札幌治水事務所長
保原元二氏

鈴木 英一

森田 康志

(敬称略)

その他 会場にて夕張川新水路パネル展開催

申込書 [FAX 送信書]

【個人情報の取り扱いについて】お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、受付を円滑に行うためのものであり、それ以外の目的、または第三者への提供はいたしません。

11月16日までにFAX かメール、WEBにてお申し込みください。

ふりがな 氏名	ふりがな 団体名
住所 〒	電話 ----- 携帯電話 ----- e-mail

申込先

〔FAX〕011-242-2445

〔web〕http://www.ishikari.or.jp

〔e-mail〕info@ishikari.or.jp